

西能美航路の再々編住民説明会の報告について

西能美航路の再々編の住民説明会を計 8 回の開催し、310 人参加があった。

日 時			場 所	参加人数
8 月 20 日	(火)	午後 7 時	大柿町会場 (大柿分庁舎)	17 人
8 月 26 日	(月)	午後 7 時	江田島町会場 (江田島保健センター)	22 人
8 月 27 日	(火)	午後 7 時	能美町会場 (江田島市役所本庁)	70 人
8 月 29 日	(木)	午後 7 時	沖美町沖会場 (沖美支所)	27 人
8 月 30 日	(金)	午後 7 時	沖美町三高会場 (沖美公民館)	33 人

能美地域での再説明

日 時			場 所	参加人数
9 月 24 日	(火)	午後 7 時	高田会場 (高田出張所)	36 人
9 月 25 日	(水)	午後 7 時	鹿川会場 (鹿川出張所)	33 人
9 月 26 日	(木)	午後 7 時	中町会場 (江田島市役所本庁)	72 人

西能美航路の再々編住民説明会における主な意見

第1案（市営船継続）を支持する意見

- 能美町で交通課ができたのは、便利にして人を集めようとしてきたためだ。赤字だから民間に売ってしまえということでは駄目だ。
- 民間では法人税を払い、配当を払って経営している。企業局は市民サービスを考えることが仕事。面倒くさい、赤字だから止めるのではなく、どうして町営船であったかを考えるべき。
- 5年間だけの計画だと間違いなく破綻する。その先がどうなるか無い中では唯一選択できるのは市営船継続の継続。理由は今後の人口減少を見込むと、税金を入れない限り、民間では破たんする。そうすると便数が減る。料金も上がる。

企業局の経営努力を求める意見

- 民間が運航するということは利益があるということでしょう。民間で利益が出る航路を市はどうして止めようとするのか。営業努力が足りないのではないか。
- 企業局は燃料をどこから買っているのか。民間と同じ単価となるよう交渉しなさい。改善努力なしの数字を並べても意味がない。資料を作り直さないと話にならない。
- 昼の2時から3時は8~10人くらいしか乗っていない。この便を減らせばよい。利用者をもとに経営努力をしなさい。
- 条件の良いはずの企業局が22便にしても赤字となるという数字はおかしい。協議会でおかしいという意見は出ないのか。経営改善計画を立てるといっているのであれば、経費がかかる燃料費と人件費を民間並みにならないか検討が必要。船員を3~4人くらい減らすものでないと経営改善計画とは言わない。
- 民間でできることは市営でもできる。企業局が企業努力をしていない。
- 人件費、燃料費の削減が難しいのはなぜか。何年も前から赤字で税金を入れてきたのに、これからもできないで民間に丸投げしますという風にしか聞こえない。

第2案（公設民営）を支持する意見

- バスも無くならないと言っていたが無くなった。船も民間になれば、バスと同じように無くなる不安がある。公設民営が妥当。

第3案（完全民営化）を支持する意見

- 私は民営化が良い。民間だと利益を出そうと一生懸命する。市では、どうでもいいという考えがある。
- 国は国鉄をJRにした。公共交通といえども毎年5,000万円を入れるのは、社会情勢上、許されない。橋でつながっている状況を考えれば民営化すべきだ。
- 公共交通は行政のような素人がやるべきではない。民営化すべき。潰れるかもしれないからと言って議論しないのはおかしい。
- 小学生が見ても民営化が良いのは当たり前。呉市営も民営化した。人口が減る中、早く民営化するか、遅く民営化するかの違い。早くすればするほど、市のお金を他に回せる。
- 経費が少ない方法で持続可能な運航を目指すとすれば民営化しかない。
- 市は手を放すべき。そうしなければ小用・切串の航路と不公平感が出る。

- 市営でやると赤字になることは分かっている。採算を考えると市営は無理。思い切って市の存亡をかけるべき。
- 今の市の体質でほとんど企業局改善努力はできない。当面は総経費が一番少ない民営化を推せば良い。

第3案（完全民営化）に反対する意見

- 民間とは瀬戸内海グループを想定しているのか。瀬戸内海グループの財務状況を調べているのか。帝国データバンクで調べたが、30億円の売り上げで50億円の借金をしているような会社に任せれば、また、以前のようにおかしくなる。
- 私は広島市へ通勤している。夜の便が減ると残業ができないからその時点で江田島市に住めない。民間に渡した場合、5年後にはそうなる。そうならないようにしてほしい。
- 民間の装備商船が破たんした実例が直近にある。民間に渡しても、民間がこの資料どおり経営努力をする保証はない。
- 市としては民営化が1番良い。市の責任はなく、税金も入れなくて済むので当然。そういうことが見え見えの資料。お互いに努力して何とか航路を存続させたいというものがなければ説得力がない。
- 民営化では値上げ・減便・破たんが目に見えている。民営化は議論の余地なし。

第3案（完全民営化）に対する不安

- 民営化案で倒産の場合に市で介入するような事態になったら、今の市営船よりも負担が増えないのですか。倒産の場合の対応策を示してもらわないと心配。
- 小用～広島は中町・高田航路より距離が短く1,030円だから、民間になればすぐに値上げになる。
- 乗船料の5年維持はあてにならない。
- 便数は市営であれば維持できる安心感がある。民営化で便数の担保はどうなるのか不安。
- 市民は民間だと何かあれば撤退すると思っている。民営化では不安が残る。
- 値上げには運輸局の許可が要するというが、許可があれば値上げされる。そのときの責任を取ってくれるのか。
- 県の補助制度も経営努力をせずに補助するという制度ではないはず。

(その他)

- 中町・高田・三高を一つの港に集約する案はないのか。集約すれば便数も増やせる。陸上輸送は考える必要があるが。
- この問題は企業局だけで検討しても駄目ではないか。市全体で人口が増えることを考えるべき。
- 陸上の国道は海上にはないのか。国に働きかけて補助金をもらうようにしてほしい。
- 高速船を廃止して一般客船に戻す提案はないか。経費削減のためには、昔にもどり三高・中町を一本化するようなことはできないのか。